

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成23年4月

長野県飯田市

ポイント

計画期間;平成20年7月～平成25年3月(4年8ヶ月)

1. 概況

平成22年度においては、認定基本計画に掲載している全54事業のうちの5割強にあたる31事業について実施又は計画策定に着手した。特にりんご並木をフィールドとした「りんご並木にぎわいづくり事業」、「環境配慮型まちづくり事業」では、新たな客層を呼び込むことで中心市街地の賑わいを創出した。

駅前中央通りの歩行者・自転車通行量の増加については、「駅周辺及び駅前ストリート整備事業」における観光案内所の整備により、同案内所にオープン後1年間で3万人が訪れるなど、事業効果によるものと考えられる。さらに3月に竣工した駅前「観光案内サイン整備事業」等の活用により、目標達成に向けた取組を強化したいと考えている。

また、銀座3丁目の歩行者・自転車通行量の増加、及び都市福利施設の利用者数の増加については、20年度、21年度と段階的に「まちなか健康福祉拠点整備事業」による健康関連サービスが開始されたことに続き、昨年度は同事業における保健・医療・福祉・介護予防マネジメント等を総合的に行う拠点の整備が完了したことに伴うものと考えられる。すでに当初の目標を達成したが、各施設の複合的な展開により、利用者のさらなる増加を見込む。

2. 目標達成の見通し

| 目標 | 目標指標 | 基準値 | 目標値 | 最新値 | 見通し |
|-------------------|------------|-------------------|---------|----------|-----|
| 人々の交流によるにぎわいの回復 | 歩行者・自転車通行量 | 7,000人 (H19年) | 9,000人 | 8,592人 | |
| 環境に配慮し安心安全な暮らしの実現 | 都市福利施設利用者数 | 77,000人 (H18年) | 93,000人 | 110,978人 | |

注) 取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

3. 目標達成見通しの理由

「歩行者・自転車通行量」について

・りんご並木ストリート・マネジメント計画に基づき「りんご並木周辺商業施設等整備事業」や「りんご並木にぎわいづくり事業」等に継続的に取り組むとともに、「駅周辺及び駅前ストリート整備事業」、「観光案内サイン整備事業」等の実施と施設の活用により、目標達成は可能であると見込まれる。

「都市福利施設の利用者数」について

- ・ 20 年度から健康関連サービス提供が開始され、さらに 22 年度から福祉関連サービスの開始によって、計画を上回る利用者の推移となっている。今後も各施設の複合的な展開により、さらなる利用者の増加を実現し、目標達成は可能であると見込まれる。

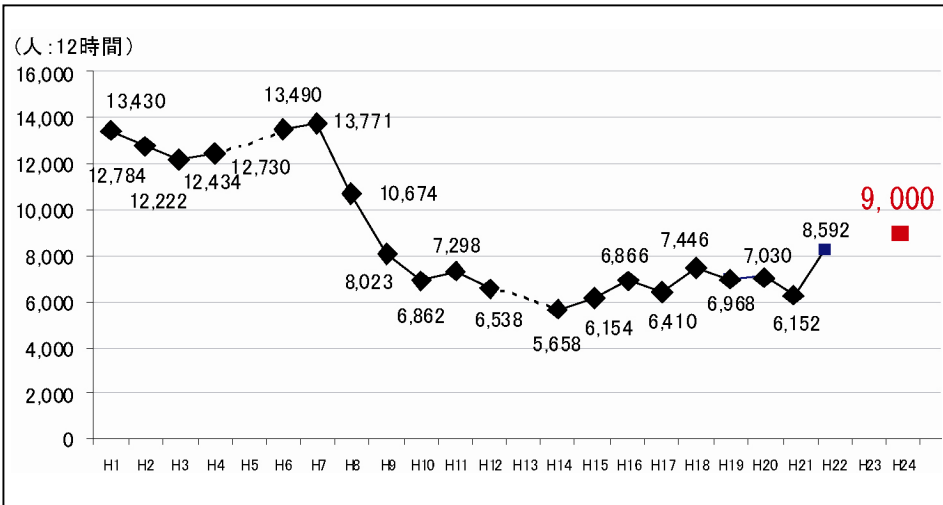
4. 今後の対応

- ・ 基本計画掲載事業の計画的かつ着実な推進によって目標達成を図って参りたい。

目標「歩行者・自転車通行量」

「歩行者・自転車通行量」 目標設定の考え方基本計画P47～P54 参照

1. 調査結果の推移



| 年 | (単位：人) |
|-----|-----------------|
| H19 | 7,000 (基準年値) |
| H20 | 7,030 |
| H21 | 6,152 |
| H22 | 8,592 |
| H23 | |
| H24 | 9,000 (目標値) |

調査方法；計画地点での調査員による通行量調査

調査月；10月

調査主体；飯田市

調査対象；歩行者及び自転車 土曜日5地点（駅前中央通り、りんご並木、知久町1丁目、銀座3丁目）

各地点における歩行者通行量（1日当り：12時間・自転車含む 単位：人）

| | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 駅前中央通り | 3,034 | 2,712 | 3,186 | 2,712 | 3,118 | 3,300 | 3,196 | 2,302 | 3,704 | | |
| りんご並木 | 776 | 968 | 1,090 | 1,354 | 870 | 952 | 1,380 | 1,438 | 1,508 | | |
| 知久町1丁目 | 838 | 1,280 | 1,548 | 1,448 | 1,512 | 1,016 | 774 | 700 | 802 | | |
| 銀座3丁目 | 1,010 | 1,194 | 1,042 | 896 | 1,946 | 1,700 | 1,680 | 1,712 | 2,578 | | |
| 合計 | 5,658 | 6,154 | 6,866 | 6,410 | 7,446 | 6,968 | 7,030 | 6,152 | 8,592 | | |

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

・商工会館改築事業（飯田商工会議所）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 【実施中】平成23年度 |
| 事業概要 | 商工会館を改築し、商業・一般公衆利便施設、バスターミナル、商工会議所、駐車場等の複合拠点として整備する。 |
| 事業効果又は進捗状況 | 20年度から整備に向けた検討及び関係者との協議を開始。関係者間の協議に時間を要したため、平成23年度に実施計画策定（計画上是平成22年度。）に着手し、平成25年度に事業が完了する予定である。（計画上見込んでいる効果：120人/日） |

駅周辺及び駅前ストリート整備事業（飯田市、飯田観光協会、JR 東海）

| | |
|--------|---------------------------------|
| 事業完了時期 | 【実施中】平成24年度 |
| 事業概要 | 交通の結節点である飯田駅における都市サービス機能の充実を図るた |

| | |
|------------|---|
| | め、駅周辺及び駅前ストリーートの観光情報案内所、店舗等誘客施設、駐車場、駐輪場、トイレ等を総合的に整備する事業 |
| 事業効果又は進捗状況 | 駅前観光情報案内所については、20年度から整備に向けた検討及び関係者との協議を開始し、21年度までに合意が得られ、観光ハイサービスの拠点として、また、商店街等の情報発信の拠点として駅舎内に観光情報案内所を計画。スケジュール通り平成21年度に事業に着手し22年度初旬に竣工した。また22年度下旬には情報案内板の整備も実施。スケジュール通り平成24年度中にすべての整備を終える予定。(計画上見込んでいる効果:165人/日) |

りんご並木周辺商業施設等整備事業(株式会社飯田まちづくりカンパニー)

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 【実施中】平成20年度～平成22年度 |
| 事業概要 | りんご並木ストリートマネジメント計画に基づき、不動産の所有と利用の分離による活性化を図るために、りんご並木周辺の空き店舗等を、中心市街地に投資意欲を持つ民間事業者とマッチングさせることで有効活用を図る。 |
| 事業効果又は進捗状況 | 20年度にはスケジュール通り3店舗がオープンし、市民からりんご並木の新たなスポットとして認知が得られ、中心市街地に新たな客層を獲得し始めている。さらに22年度には、意欲ある民間事業者を含めた多様な主体の連携により、りんご並木に新たな店舗・サービスを5店舗整備する。計画上見込んでいる歩行者・自転車通行量の増加(1,440人/日)を達成するよう、ソフト事業を含めた事業展開を行う。(計画上見込んでいる店舗数:10店舗) |

人形劇のまちづくり推進事業(NPO いいだ応援ネットイデア)

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 【実施中】平成20年度から平成24年度 |
| 事業概要 | 人形劇をテーマとした操れる人形等の商品開発、観光ツアー開発、イベントの実施等官民一体のまちづくりの推進 |
| 事業効果又は進捗状況 | 20、21年度に引き続き、22年度についても人形劇に関連したイベント「フィギュア・マーケット」を開催。30余のブースが出展し、10以上の団体が連携し取り組む祭に成長した。また、フィギュア・クイズ・ラリーなど創意工夫に富んだ企画も実施し、3万人に及ぶ集客が得られた。23年度についても新たな企画を加えつつ、さらなる集客アップを図っていく。(～で計画上見込んでいる回遊促進効果:300人/日) |

まちなか観光活性化事業(飯田観光協会)

| | |
|--------|---|
| 事業完了時期 | 【実施中】平成20年度から平成24年度 |
| 事業概要 | 現存する中心市街地の観光資源を十分に活かしつつ、商業者による観光資源開発、街角観光案内拠点整備、宿泊拠点での観光案内や人形劇場やコンベンション施設整備等による観光産業の活性化事業 |

| | |
|------------|---|
| 事業効果又は進捗状況 | 観光ボランティアガイドによる観光施設案内を実施している(参加者数実績 22年4月～22年11月で約6000人)。23年度には観光ボランティアガイドが主体的に観光資源の洗い出しを行い、マップ製作に取り組む予定。製作されたマップは観光案内施設や宿泊施設等での活用を行う。(～ で計画上見込んでいる回遊促進効果:300人/日(再掲)) |
|------------|---|

観光資源開発とネットワーク事業(飯田市)

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 【実施中】平成20年度から平成24年度 |
| 事業概要 | まちなかに点在する施設や資産を観光資源として開発・整備するとともに、南信州観光公社と一体となった商品企画開発をはじめ語り部の育成やツアー企画、食事ガイドマップ等のマップ、ホームページ作成等による情報発信、まちなか探索、スタンプラリー、ウォーキング等、更には、レンタサイクル・馬車・ベロタクシー等の移動手段の確立等について、一体的なネットワーク化を図る。 |
| 事業効果又は進捗状況 | イベントや食事ガイドなどの中心市街地情報をホームページを活用し「まちなか観光情報」として情報発信を行った。 21、22年度については、レンタサイクル事業も実施。飯田市美術博物館、まちなかインフォメーションセンターなど中心市街地の10か所の公共施設と7か所の宿泊施設に約60台を設置した(利用者数は未集計)。点在する観光資源のネットワーク化を図るツールとして自転車は有効と考えられる。(～ で計画上見込んでいる回遊促進効果:300人/日(再掲)) |

りんご並木賑わいづくり事業(飯田市、株式会社飯田まちづくりカンパニー)

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 【実施中】平成21年度から平成24年度 |
| 事業概要 | りんご並木周辺における文化的イベントや農産物直売市等の商業的イベントを実施するとともに、魅力資源発掘、マップ作成や情報発信等を推進する。 |
| 事業効果又は進捗状況 | 22年度については、4月から11月まで毎月1回りんご並木歩行者天国を実施し、ゆるキャライベントや獅子舞フェスティバル、りんご並木収穫祭など創意工夫に富んだイベントを実施した。その際、農産物直売なども組み入れ複合的な取り組みとした。各回数千人～1万5千人ほどの集客が得られた。(～ で計画上見込んでいる回遊促進効果:300人/日(再掲)) |

まちなか健康福祉拠点整備事業(飯田市)

| | |
|--------|--|
| 事業完了時期 | 【済】平成20年度～平成22年度 |
| 事業概要 | 健康の駅構想とともに、市民の健康寿命延伸のため、地域に居住する高齢者の生活支援施策、地域住民の健康支援事業、地域住民の健康・福祉データバンク機能、子育て支援のための活動拠点整備事業 |

| | |
|------------|--|
| 事業効果又は進捗状況 | 19年11月に健康関連サービスが開始、21年度には、保健・医療・福祉・介護予防マネジメント等を総合的に行う拠点の整備が完了、22年度から福祉関連サービスを開始した。年間利用者は2万人を超えている。利用者の増加とともに、それまで減少傾向にあった、同拠点近くの銀座3丁目における歩行者・自転車通行量が増加した。 (計画上見込んでいる効果:50人/日) |
|------------|--|

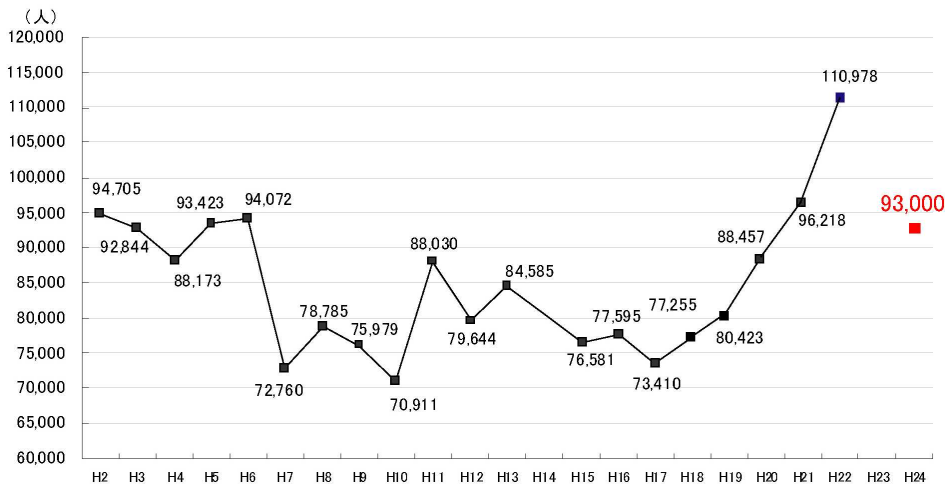
3.目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 指標1「歩行者・自転車通行量」は、基準値(H19)を1592人上回る結果となった。昨年は12%の減であったが、昨年の調査日が曇りのち雨であったこと(例年は晴れ)が、歩行者・自転車通行量の減に影響したものと考ええる。
- ・ りんご並木、銀座3丁目においては、歩行者・自転車通行量が基準年に比して増加している。これは、りんご並木周辺商業施設等整備事業やりんご並木賑わいづくり事業など、りんご並木を活用したハード・ソフト事業の積極的取り組み及びまちなか健康福祉拠点整備事業における健康関連サービスの開始によるものと考えられる。
- ・ 駅前中央通りにおいては、歩行者・自転車通行量が基準年に比して増加している。これは「駅周辺及び駅前ストリート整備事業」における駅前観光案内所整備によって、観光案内や各種展示などのソフト事業に積極的に取り組んだことが歩行者の増加につながったものと考えている。
- ・ 検討に時間を要している商工会館改築事業については、合意形成に時間を要しているものの、事業実施により効果が発現するよう、さらなる関係者間の調整を進めていく。
- ・ りんご並木周辺商業施設等整備事業についても、計画上見込んでる歩行者・自転車通行量の増加(1,440人/日)を達成するよう、必要な調整等を行う。
- ・ 人形劇のまちづくり推進事業では、イベント時の賑わいを平常時への賑わいにどう繋げていくかが課題である。一定期間に亘って開催する関連企画を盛り込むなど、さらなる創意工夫のある取組を実施する。
- ・ まちなか観光推進事業と観光資源開発とネットワーク化事業については、レンタサイクルなど積極的な取り組みを行っているものの、現段階では、利用はほぼ地元住民に限られる等、観光客の回遊増加につながっているとは言い難い。今後、マップ製作・設置などにより回遊を促す取組を行う。
- ・ 以上の取り組みにより、今後目標達成は可能であることが見込まれる。

目標「都市福利施設の利用者数」

「都市福利施設の利用者数」 目標設定の考え方基本計画P47～P58 参照

1. 調査結果の推移



| 年 | (単位：人) |
|-----|------------------|
| H18 | 77,000 (基準年値) |
| H19 | 80,423 |
| H20 | 88,457 |
| H21 | 96,218 |
| H22 | 110,978 |
| H23 | 93,000 (目標値) |

調査対象である各施設管理者からの聞き取り

調査月；6月

調査主体；飯田市

調査対象；飯田市公民館、りんご庁舎、おしゃべりサラダ、まちなか健康福祉拠点（堀端ビル）

都市福利施設における利用者数の推移（単位：人）

| | 平成13年 | 平成14年 | 平成15年 | 平成16年 | 平成17年 | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 | 平成23年 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|
| 公民館 | 77,350 | 39,113 | 56,778 | 58,926 | 54,323 | 55,997 | 54,256 | 49,344 | 56,202 | 63,716 | |
| りんご庁舎 | 7,235 | 13,459 | 17,854 | 16,984 | 17,862 | 20,179 | 20,757 | 24,990 | 21,395 | 19,788 | |
| おしゃべりサラダ | | | 1,949 | 1,685 | 1,225 | 1,079 | 1,574 | 2,205 | 2,011 | 4,053 | |
| 健康関連サービス | | | | | | | 3,836 | 11,918 | 16,610 | 23,421 | |
| 合計 | | | | 77,595 | 73,410 | 77,255 | 80,423 | 88,457 | 96,218 | 110,978 | |

2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

まちなか健康福祉拠点整備事業（飯田市）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 【済】平成20年度～平成22年度 |
| 事業概要 | 健康の駅構想とともに、市民の健康寿命延伸のため、地域に居住する高齢者の生活支援施策、地域住民の健康支援事業、地域住民の健康・福祉データバンク機能、子育て支援のための活動拠点整備事業 |
| 事業効果又は進捗状況 | 19年11月に健康関連サービスが開始、21年度には、保健・医療・福祉・介護予防マネジメント等を総合的に行う拠点の整備が完了、22年度から福祉関連サービスを開始した。年間利用者は2万人を超えている。利用者の増加とともに、それまで減少傾向にあった、同拠点近くの銀座3丁目における歩行者・自転車通行量が増加した。 (計画上見込んでいる効果：50人/日) |

・子育て・子どもサロン等の拠点整備事業（飯田市）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 【未】平成 24 年度 |
| 事業概要 | 子育て支援の中核をなす拠点センターの設置計画及び整備推進 |
| 事業効果又は進捗状況 | 先行しているおしゃべりサラダの活動運営に対し、活動場所の貸出や運営補助などの側面的な支援を行っている。おしゃべりサラダの活動の分析や市民ニーズの把握する中で、23 年度事業着手を目指し、都市機能としての子育てサロンのあり方等について官民協働により検討しているところである。（計画上見込んでいる効果:1,000 人/年） |

コミュニティ形成・公共施設機能強化事業（飯田市）

| | |
|------------|---|
| 事業完了時期 | 【実施中】平成 20 年度から平成 24 年度 |
| 事業概要 | 地域の福祉、文化、コミュニティの再構築に向けた取組み等を行える空間として、図書館で読書を通して個の力を高め、公民館及びりんご庁舎で人々が集い協働で暮らし(広い意味での福祉)の課題を学ぶコミュニティ講座等を実施し、市民の文化的な満足を高めることにより、公共施設の機能的、施設的な強化を図る |
| 事業効果又は進捗状況 | 従来から行なわれていた、図書館、公民館での各種コミュニティ講座に加え、22 年度は、りんご庁舎等を活用して、橋南まちづくり委員会による文化講座やまちづくりNPOなどによるコミュニティ講座が20 回程度開催され(合計参加人数:延べ 1000 人)、都市福利施設の利用者数の増加に寄与したものと考えられる。（計画上見込んでる効果:360 人/年） |

生涯学習センター設置・運営事業（飯田市）

| | |
|------------|--|
| 事業完了時期 | 【未】平成 21 年度から平成 24 年度 |
| 事業概要 | 公民館への「生涯学習センター」の設置・運営事業 |
| 事業効果又は進捗状況 | 現在、教育振興基本計画に基づき、公民館の生涯学習センター機能について検討を行っている。（計画上見込んでいる効果:240 人/年） |

3. 目標達成の見通し及び今後の対策

- ・ 銀座堀端ビルにおけるまちなか健康福祉拠点整備事業・健康関連サービス提供が 20 年、21 年と段階的に開始されたことに続き、22 年度には銀座堀端ビルにおける保健・医療・福祉・介護予防マネジメント等を総合的に行う拠点の整備が完了し、保険・医療・福祉・介護関連の包括的サービスの開始により、すでに当初の目標を達成したが、各施設の複合的な展開により、利用者のさらなる増加を見込む。
- ・ りんご庁舎で実績のあった、夕方から夜間の高校生の利用を公民館に拡大したため、利用者が徐々に増加している。公民館及びりんご庁舎における講座等による会議室利用などが定着し、目標を超える利用者の伸びが見られた。
- ・ また、子育て・子どもサロンや飯田市公民館を活用した多様な主体によるコミュニティ講座・生涯学習関連事業等、計画的な事業実施に努めていく。

